神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ベーシックキーボード (Basic Keyboard)	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科　昼間1部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分 曜日・時間	前期(半期のみ)

【授業の学習内容】
・テキストで学んだ内容をキーボードでアウトプットする。
・各自選曲した曲を両手で演奏する。

【実務者経験】甲陽音楽学院クラシックピアノコース卒業。在学中より、英国RADバレエピアニスト及びグレード試験の伴奏、ミュージカルや合唱団の伴奏などを務める。大阪・神戸を拠点に。芸術鑑賞会やホテル、ラウンジでの演奏、セレモニープレイヤー、音楽教室ピアノ講師を務める。

【到達目標】
コードを見て両手で演奏できるようになる。

授業計画・内容	
1週目	イントロダクション
2週目	音名、音程、音階を覚えて弾けるようにする
3週目	基本コード
4週目	ダイアトニックコード　3和音
5週目	ダイアトニックコード　4和音
6週目	SUSコード　addコード
7週目	augコード　dimコード
8週目	コード進行　基本パターン1
9週目	コード進行　基本パターン2
10週目	コード進行　基本パターン3
11週目	コード進行　基本パターン4
12週目	コード進行　基本パターン5
13週目	テスト
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	キーボードの練習が可能なら、時間外での練習が望ましい。
評価方法	試験および授業態度、出席日数。
受講生へのメッセージ	曲の音源は授業の最初に音を流しますが配付はしませんので、iPad、スマートフォンなどからyoutube等を検索して、それを聴きながら練習してください。

【使用教科書・教材・参考書】
・Keyboard fundamental
・五線紙

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Compose & Sound Making	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
アナログ機器を学ぶことによって、DAWがいかにアナログのシミュレートであるかを理解でき、物理的な音楽制作の仕組みを理解することを目的とする。音の原理を学び、飽和を理解し、音数に頼らない、よりプロとしての音楽制作ができることが目標。

【実務者経験】day after tomorrow(avex trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2003ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍、

【到達目標】
PC上だけで解決するのではなく、より広くスタジオワークを学ぶことによって、作曲家だけでなく、幅広い将来性に目を向けてもらうことが目標。

授業計画・内容	
1週目	制作知識1(信号の流れ、音の方向性、周波数の理解する)
2週目	制作知識2(位相、イコライジング、レイヤー、周波数からの積み方を学ぶ)
3週目	センターラインの作り方１（様々な低域の作り方を学ぶ）
4週目	センターラインの作り方２（ワイドレンジでとらえたセンターラインを学ぶ）
5週目	機材知識1(Soundcraft Signature、コンプレッサーの使用方法を学ぶ)
6週目	Soundcraft Signatureを使用してのトラッキング 各種プラグインの使い方を学ぶ
7週目	Soundcraft Signatureを使用してのトラッキング 各種プラグインの使い方を学ぶ
8週目	試験
9週目	試験
10週目	機材知識2(AWS948の使用方法)
11週目	機材知識3(AWS948を用いた、イコライジングやコンプを学ぶ)
12週目	機材知識4(データ作成方法、ボーカルレコーディングを学ぶ)
13週目	AWS948を使用したトラッキングをする
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	DAWを使用した政策において一番大事なことは、次に受け渡しがあるということ。一人で解決するセッション作りでなく、だれが受け継いでも概要のわかるセッション作りを目指して、現場に出ていけるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Compose & Sound Making	必修選択	選択	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
アナログ機器を学ぶことによって、DAWがいかにアナログのシミュレートであるかを理解でき、物理的な音楽制作の仕組みを理解することを目的とする。音の原理を学び、飽和を理解し、音数に頼らない、よりプロとしての音楽制作ができることが目標。

【実務者経験】day after tomorrow(avex trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2003ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍、

【到達目標】
PC上だけで解決するのではなく、より広くスタジオワークを学ぶことによって、作曲家だけでなく、幅広い将来性に目を向けてもらうことが目標。

授業計画・内容	
1週目	機材知識5(AWS948の使用方法のおさらい)
2週目	課題を用いてAWS948を使用したトラッキング
3週目	課題を用いてAWS948を使用したトラッキング（2週目の続き）
4週目	学生の曲を用いたトラッキング
5週目	学生の曲を用いたトラッキング（4週目の続き）
6週目	学生の曲を用いたトラッキング
7週目	学生の曲を用いたトラッキング（6週目の続き）
8週目	試験
9週目	試験
10週目	作家が行うミキシング技術1
11週目	作家が行うミキシング技術2
12週目	マスタリングの考え方、各種リミッターの使い方
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	DAWを使用した政策において一番大事なことは、次に受け渡しがあるということ。一人で解決するセッション作りでなく、だれが受け継いでも概要のわかるセッション作りを目指して、現場に出ていけるようになりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科　昼間I部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	オリエンテーリングとニーズの抽出
2週目	SNSプロモーション①
3週目	SNSプロモーション②
4週目	SNSプロモーション③
5週目	SNSブランディングの結果考察と課題の抽出
6週目	iMOVIE等を使用した動画スキル①
7週目	iMOVIE等を使用した動画スキル②
8週目	iMOVIE等を使用した動画スキル③
9週目	動画アワード
10週目	YOUTUBEプロモーション①
11週目	YOUTUBEプロモーション②
12週目	YOUTUBEプロモーション③
13週目	オーディション対策①
14週目	オーディション対策②
15週目	振り返り
準備学習時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Creaters IT	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科　昼間I部	授業形態	演習	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
ミュージシャン、ダンサーが活動していく上で必要なITスキル、またマーケティング思考

【実務者経験】
2005年ビクターエンターテーメントよりメジャーデビュー、2007年より音楽制作所「GLOBAL SKILLS」を起業。数々のアーティストのプロデュース、楽曲制作、編曲を手がける。現在はアニメ、ゲーム業界を中心に活動中。

【到達目標】
様々なアプリケーションを使用するので、7割は使えるように目指す。そして自分にとって一番有益だと感じたアプリにおいてはプロフェッショナルを目指す。

授業計画・内容	
1週目	前期の振り返りと後期の目標
2週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り①
3週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り②
4週目	Garage Bandを使用した曲のデモ作り③
5週目	コンペティションの勝ち方①
6週目	コンペティションの勝ち方②
7週目	コンペティションアワード
8週目	DAW講座
9週目	CUBASEの使用方法①
10週目	CUBASEの使用方法②
11週目	CUBASEの使用方法③
12週目	MIX講座①
13週目	MIX講座②
14週目	必要な機材についての基礎知識
15週目	振り返り
準備学習 時間外学習	積極的に授業で使用したアプリケーションを使用してみる。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	今もとめられるのはスピード感とセルフプロモーション力です。自分でできる最大限のスキルを身につけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET1(Ear training　1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科　昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
シンプルなダイアトニック・メロディー、リズム、2度と3度のインターバル、メジャー・トライアドとマイナー・トライアドなどの聴き取りや視唱を行い音感を養う。

【実務者経験】
’03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し’04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean’s Listに掲載される。’06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音を音名として認識する第一歩。音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー：Do，Re　▼リズム：4分音符まで
2週目	▼メロディー：Do，Ti　▼リズム：4分音符まで
3週目	▼メロディー：Ti，Do，Re（音跳びなし・あり）　▼リズム：4分音符まで　▼インターバル練習：Major　2nd（長二度）／Minor　2nd（短二度）
4週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi（音跳びなし・あり）　▼リズム：4分休符　▼インターバル練習：Major　2nd（長二度）／Minor　2nd（短二度）
5週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa（音跳びなし・あり）　▼リズム：4分休符　▼インターバル練習：Major　3rd（長三度）／Minor　3rd（短三度）
6週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa（音跳びあり）　▼リズム：4分音符／4分休符　▼インターバル練習：Major　3rd（長三度）／Minor　3rd（短三度）
7週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So（音跳びなし）　▼リズム：8分音符　▼コード練習：Major　Triad（長三和音）／Minor　Triad（短三和音）＜基本形＞
8週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So（音跳びあり）　▼リズム：8分音符　▼コード練習：Major　Triad（長三和音）／Minor　Triad（短三和音）＜基本形＞
9週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びなし）　▼リズム：8分音符　▼インターバル練習：2音・3音（復習）
10週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びあり）　▼リズム：8分音符／8分休符　▼インターバル練習：2音・3音（復習）
11週目	▼メロディー：[Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La（音跳びなし）　▼リズム：8分音符／8分休符　▼コード練習：Major　Triad（長三和音）／Minor　Triad（短三和音）＜基本形＞
12週目	▼メロディー：[La，Ti]，Do，Re，Mi，Fa，So，La，Ti（音跳びあり）　▼リズム：8分音符／8分休符　▼インターバル練習：Major　2nd（長二度）／Minor　2nd（短二度）
13週目	▼メロディー：Do，Re，Mi，Fa，So，La，Ti，Do　▼リズム：8分音符・8分休符　▼インターバル練習：Major　2nd（長二度）／Minor　2nd（短二度）　▼コード練習：Major　Triad（長三和音）／Minor　Triad（短三和音）＜基本形＞第1転回形・第2転回形
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	ET2(Ear training 2)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科 昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
少し複雑なダイアトニックメロディー、リズム、5度までのインターバル、すべてのトライアドの聴き取りや視唱を行い、音感を磨いていく。

【実務者経験】
'03年甲陽音楽学院ジャズピアノ科を首席で卒業。バークリー音楽大学主催ワールドスカラーシップツアーにて奨学金を獲得し'04年留学。初年度から卒業まで毎年、成績上位者リストであるDean's Listに掲載される。'06年同大学を首席で卒業。Jazz、Fusion、Latin、Funk、Gospelなど幅広いジャンルをこなし、特にリハーモニゼーションやコードの組み立てに定評がある。

【到達目標】
音名を認識しそれを楽譜としてもかけるようになる事。

授業計画・内容	
1週目	▼メロディー Do,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
2週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Re,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：Triad（Major, Minor）＜基本形と転回形＞
3週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Ti,Re,Do ▼リズム ▼インターバル M2,M3,P4,m2 −5
4週目	▼メロディー Do,Mi,Sol,Fa,Mi,Do,Ti,Re,Do ▼リズム ▼コード：7th Chord（Major 7th, Minor 7th）＜基本形と転回形＞
5週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,So,La,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M2,M3,m3,P4,P5,M6
6週目	▼メロディー Do,Re,Mi,Fa,Sol,La,Ti,Do,Do,Sol,Mi,Fa,Re,Ti,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Major 7thコードの転回形＞
7週目	▼メロディー Do,So,La,So,Do,Fa,Mi,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m3,M2,m2
8週目	▼メロディー Do,So,La,Ti,Do,Sol,Fa,Re,Do ▼リズム ▼コード：Dominant 7th Chord＜Dominant 7thコードの転回形＞
9週目	▼メロディー Do,Re,Do,La,So,Fa,Mi,Ti,Do ▼リズム ▼インターバル m6,M6
10週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼コード：Major 7th Chord＜Minor 7thコード＞
11週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Re,Me,Fa,Sol,Le,Te,Do,Te,Le,Sol,Fa,Me,Re,Do ▼リズム ▼インターバル m2,M7,m3,M6,M3,m6,P4,m7
12週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー Do,Me,Do,Sol,Fa,Sol,Le,Te,Do,Sol,Me,Te,Do ▼リズム ▼コード：今までに学習したコード
13週目	▼メロディー 今まで習った内容から ▼メロディー／マイナー 今まで習った内容から ▼リズム ▼インターバル m6,M2,m3,m7,M3
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	毎回の授業での経験の積み重ねが最も重要。頑張りましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科 昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期

【授業の学習内容】
音楽理論の勉強を進めていく上で必要な音楽の基礎知識を習得する。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】
ハーモニーの学習を進めてゆくために必要な基本的な知識（ダイアトニックスケール、調号、調関係、インターバル、三和音、四和音など）を学び、身につける。

授業計画・内容	
1週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
2週目	ダイアトニック・スケール（メジャー・スケールとマイナー・スケール）
3週目	調号、五度圏、調関係
4週目	調号、五度圏、調関係
5週目	インターバル（度数）
6週目	インターバル（インターバルを特定する名称）
7週目	インターバルの読み書き練習
8週目	インターバルの転回、単音程と複音程
9週目	インターバルのまとめと演習
10週目	コードとコードネーム（トライアド）
11週目	コードとコードネーム（セブンス・コード）
12週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
13週目	コードとコードネーム（その他のコードと転回形）
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	基礎とは言え、中身がとても濃い授業で覚える事がたくさんあり今後役に立つことばかりで楽しいです。コツコツ休まず頑張る事が一番重要です。頑張ろう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	MT1(Music Theory 1)	必修選択	必修	年次	1,2年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科 昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	後期

【授業の学習内容】
作曲やアドリブを考えて行えるようになる為の第一歩となる知識の習得。

【実務者経験】
大学を卒業後、甲陽音楽学院に入学。ピアノをフィリップストレンジ氏に、理論・アレンジを荒崎英一郎氏に師事。その後、25歳からポップス・ジャズ・フュージョンなどでプロとしての音楽活動に入る。ライブハウス・スタジオでの演奏活動に加え、TVでの録音やテーマパークの楽曲アレンジ制作などの分野で活躍中。MIDI検定１級所持。

【到達目標】
ダイアトニックハーモニーを中心としたコードプログレッションの基本を学び、アナライズの方法やコードスケールを学び、知識を身につける。

授業計画・内容	
1週目	メジャーのダイアトニックコード
2週目	メジャーのダイアトニックコード
3週目	コードスケール
4週目	コードスケール
5週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
6週目	ケーデンス、ドミナントレゾリューション、セカンダリードミナント
7週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
8週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション、ハーモニックリズム
9週目	Ⅱ－Ⅴ、リレイテッドⅠim7、ディセプティブレゾリューション
10週目	マイナーのダイアトニックコード
11週目	マイナーのダイアトニックコード
12週目	ブルース
13週目	ボイスリーディング
14週目	授業内試験
15週目	まとめ
準備学習 時間外学習	
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	休まないように！一緒に頑張っていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Pro Tools（Pro Tools）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】
Pro Toolsソフトウェアの基本知識を学びます。スタジオでのオペレートに必要な操作や、編集技術を磨きます。

【実務者経験】
関西のレコーディングスタジオ勤務後フリーランスとして活動。若手ロックバンドを主にメジャー、インディーズ問わず様々な現場で活躍する若手エンジニア。

【到達目標】
実際の録音での正確なオペレート技術、編集技術を身につける。

授業計画・内容	
1週目	「Pro Toolsとは？」「新規セッション作成」「用語説明」
2週目	「オーディオトラック作成」「入出力設定」
3週目	「コンソールとProToolsの基本ルーティング」
4週目	「録音データの整理（フェードインアウト）、テイク管理」
5週目	「録音モードやグリッド等の解説」
6週目	「オーディオトラック作成・応用」「その他トラックの解説」
7週目	「複数トラックのグループ化、編集」
8週目	「オートメーション操作」「ProTools内BUS解説」
9週目	「複数トラックの録音、テイク管理」
10週目	「楽曲のロケーション管理、レッテル」
11週目	「オーディオインポート、エクスポート、バウンス」
12週目	「セッションインポート」「セッション作成効率化」
13週目	「エラスティックオーディオ」「ピッチ修正」
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	用語や、操作方法等、覚えることがたくさんあるので、自身で模索しながら分からないところを探して潰していくの反復の癖付け。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	録音現場ではスピードを求められるのですが、焦らず丁寧に理解を進めていけば作業スピードは付いてきます。　一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	Pro Tools（Pro Tools）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】
Pro Toolsソフトウェアの基本知識を学びます。スタジオでのオペレートに必要な操作や、編集技術を磨きます。

【実務者経験】
関西のレコーディングスタジオ勤務後フリーランスとして活動。若手ロックバンドを主にメジャー、インディーズ問わず様々な現場で活躍する若手エンジニア。

【到達目標】
実際の録音での正確なオペレート技術、編集技術を身につける。

授業計画・内容	
1週目	前期復習、個々の学習度に応じて指導
2週目	前期復習、個々の学習度に応じて指導
3週目	実践1 ボーカル録音　テイク管理1（パンチイン・アウト）
4週目	実践1 ボーカル録音　テイク管理2（プレイリスト管理パターン別）
5週目	実践1 ボーカル録音　編集1（ゼロクロスなど）
6週目	実践2 ドラム録音　テイク管理1（パンチイン・アウト）
7週目	実践2 ドラム録音　編集1（リズムエディット）
8週目	実践3 楽曲1曲録音（編成少なめ）
9週目	実践3 楽曲1曲録音（ダビング）
10週目	実践3 楽曲1曲録音（ダビング）
11週目	実践3 楽曲1曲録音（編成少なめ）
12週目	楽曲データ管理、書き出し方法
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	用語や、操作方法等、覚えることがたくさんあるので、自身で模索しながら分からないところを探して潰していくの反復の癖付け。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	録音現場ではスピードを求められるのですが、焦らず丁寧に理解を進めていけば作業スピードは付いてきます。　一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽ンス専門学校
シラバス

科目名（英）	REC Basic（Rec Basic）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】 まずは自分たちだけでレコーディング出来る為に必要な基礎知識を学ぶ。目には見えない「音」を扱うための考え方やその方法。マイク、ミキサー、その他音響機材の基本操作の習得。レコーディングスタジオの仕組み。

【実務者経験】関西最大級である三和レコーディングスタジオのチーフエンジニア。メジャーアーティストや関西在住のインディーズバンド、CM、ミュージカルなど幅広く手掛けるベテランエンジニア。

【到達目標】 先ずは自分たちでレコーディングが出来るまでの基本知識を習得する。

授業計画・内容	
1週目	「レコーディングエンジニアの仕事とは」「音とは？」「リファレンスCDを聴く」
2週目	「レコーディングスタジオの仕組み～音の流れ」「PAとレコーディングの相違点」
3週目	「マイクの種類と指向性～マイクアンプとは、DIとは」
4週目	「ミキサー解説・コンパクトミキサー編」「マイクレベル、ラインレベルの違い、等」
5週目	「ミキサー解説・AWS948編その1＜何が出来るの？パッチベイってなに？＞」
6週目	「マイキングの基礎＜セッテイング、マイクスタンド、マイクケーブル＞」
7週目	「ミキサー解説・AWS948編その2＜様々なモード切り替え、BUS、AUX、FXの解説＞」
8週目	「キューボックス解説＆これまでのまとめ＜自分たちで歌ってみる録ってみる＞」
9週目	「楽器の仕組みとエンベロープ」「アナログシンセサイザーの仕組み」
10週目	「レコーディングの歴史」「コンピューターの話、オーディオファイルの種類、データの受け渡し」
11週目	「電源の話＜交流と直流＞＜分電盤とは＞＜良い電源とは＞」
12週目	「デジタルとアナログの話、それぞれの仕組みとメリットとデメリット」
13週目	「デジタルミキサーとアナログミキサー」「ワードクロックとは」
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	レコーディングエンジニアはアーティストの求めているサウンドを瞬時に理解出来る事が必要な職業です。その為にはより多くのジャンルの音楽を普段から意識して聴く事がとても大切。自分の得意なジャンルはより深く探求し、まだ聴いた事が少ないジャンルの音楽も意識して聴いて下さい。この時に大切なのでどんなジャンルの音楽も＜楽しみながら＞です。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	音楽作品が生まれる瞬間をプロとしてサポートする仕事がレコーディングエンジニアです。アーティストからの信頼なくしては務まりません。授業では音の事、機材の事、音楽の事、スタジオワーク、の全てを一緒に勉強して行きます。難しい内容もあるかも知れませんが少しずつスキルアップして行ければ良いです。価値観（ゴール）が共有出来る素晴らしい業界ですので皆さん頑張って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
「レコーディング／ミキシングの全知識（リットーミュージック社）」

神戸・甲陽音楽ンス専門学校
シラバス

科目名（英）	REC Basic（Rec Basic）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】 機材の事をより詳しく学ん行き実践的な音作りも身につけて行きます。プロスタジオでの必修的な知識も習得しましょう。マスタリング～音楽流通、著作権、と言った音楽ビジネス的内容もも学びます。

【実務者経験】関西最大級である三和レコーディングスタジオのチーフエンジニア。メジャーアーティストや関西在住のインディーズバンド、CM、ミュージカルなど幅広く手掛ける。

【到達目標】アーティストとの協同作業（レコーディング）がスムーズに行え、クリエイティブな作品づくりが出来るための経験、知識の習得。

授業計画・内容	
1週目	「音源CDの分析、ミキサーとしての耳を鍛える」
2週目	「エフェクター、実機とプラグインの違い」
3週目	「エフェクター解説・イコライザー系」
4週目	「エフェクター解説・ダイナミクス系」
5週目	「エフェクター解説・空間系」
6週目	「スタジオセッテイング術＜快適な演奏の為に＞」
7週目	「バランスの取り方、定位の取り方、レベルの話」
8週目	「ミックスしてみよう」
9週目	「譜面の読み方」「楽器の種類と略記号」
10週目	「音楽媒体の話＜CD、iTunes、YouTube、SoundCloud、ハイレゾ＞」
11週目	「マスタリングとは」「WaveLabの使い方」
12週目	「音楽流通のお話、ディストリビューターとは、配信とは」「著作権とJASRAC」
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	音楽や機材の情報はどこででも探せる時代です。その集めた情報を普段から自分自身の目や耳で理解する事が大切です。（情報に振り回されない自分が感じる『リアル体験』こそが大切。） 授業では取り扱わなかった疑問も遠慮なく質問して下さい。先生達も日々勉強してますので。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	音楽作品が生まれる瞬間をプロとしてサポートする仕事がレコーディングエンジニアです。アーティストからの信頼なくしては務まりません。授業では音の事、機材の事、音楽の事、スタジオワーク、の全てを一緒に勉強して行きます。難しい内容もあるかも知れませんが少しずつスキルアップして行ければ良いです。価値観（ゴール）が共有出来る素晴らしい業界ですので皆さん頑張って下さい。

【使用教科書・教材・参考書】
「レコーディング／ミキシングの全知識（リットーミュージック社）」

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	スタジオワーク（Studio Works）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】スタジオ／ホームレコーディングにおける録音技術及ミキシング技術をより実践的に行います。
また、商業音楽としてのデーター管理、整理技術も合わせて現代の制作に合わせて習得出来るよう育成します。

【実務者経験】 EMI music TERRA10年の経験を経て現在フリーランス10年目。多くの作品に関わるエンジニア

【到達目標】 レコーディング・ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、
音楽業界を活性化できる人材を育成します。

授業計画・内容	
1週目	アナログコンソールの基礎　スタジオで色々なCDを聴く
2週目	アナログコンソールやアウトボードの基礎
3週目	アナログコンソールやアウトボードの基礎
4週目	ヴォーカル・アコースティックギター　弾き語りレコーディング その1
5週目	ヴォーカル・アコースティックギター　弾き語りレコーディング その2
6週目	ヴォーカル・ピアノ　レコーディング　その1
7週目	ヴォーカル・ピアノ　レコーディング その2
8週目	編集・ミックス　基礎
9週目	ドラム　レコーディング基礎
10週目	ドラム　ベース　レコーディング　応用
11週目	ギター　キーボード　レコーディング
12週目	ヴォーカル　レコーディング
13週目	編集・ミックス　応用
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	各回、RECのセッティングをプランニング。またどんな事をやってみたいかの意思表示
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	すぐにでもプロの現場で活躍できるようがんばりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	スタジオワーク（Studio Works）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】スタジオ／ホームレコーディングにおける録音技術及ミキシング技術をより実践的に行います。
また、商業音楽としてのデーター管理、整理技術も合わせて現代の制作に合わせて習得出来るよう育成します。

【実務者経験】EMI music TERRA10年の経験を経て現在フリーランス10年目。多くの作品に関わるエンジニア

【到達目標】レコーディング・ミキシング技術を身につけプロクオリティの音源を作れるようにし、
音楽業界を活性化できる人材を育成します。

授業計画・内容	
1週目	前期に録音したバンド音源を使っての　実験
2週目	ドラム・ベース　レコーディング　（バンド）　2曲
3週目	ダビングレコーディング　（バンド）　2曲
4週目	ダビングレコーディング　（バンド）　2曲
5週目	ヴォーカル・コーラス　レコーディング　（バンド）
6週目	ヴォーカル・コーラス　レコーディング　（バンド）
7週目	PROTOOLSを使用したミックス
8週目	PROTOOLSを使用したミックス
9週目	バンド　レコーディング　（リズム）
10週目	バンド　レコーディング　（ダビング）
11週目	バンド　レコーディング　（ダビング）
12週目	ミックス　コンテスト
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	各回、RECのセッティングをプランニング。またどんな事をやってみたいかの意思表示
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	すぐにでもプロの現場で活躍できるようがんばりましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	トラックメイク（Track make）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】DAWの基本的使い方からトラックメイカー的目線でのアレンジ技法を習得する為に分析と実践を行い各自のスキルアップを目指す。授業内ではCubaseやAbleton Liveなどを併用し進めるが提案された課題スキルを各自使用しているDAW状で使えるよう常に考えながら講義を受けること。

【実務者経験】10年以上現役でJ-pop・K-popの作曲編曲活動を行なっている。作家事務所obeliskと業務提携し、TWICE、2PM、E-girls、ジャニーズWESTなどへ楽曲提供。

【到達目標】コンペ案件などでの様々なリクエストに対応出来るよう出来るだけ多くのスキルを身につける。

授業計画・内容	
1週目	基本操作、ドラム音源の仕組み、ドラムの打ち込みが出来るようになる
2週目	コードの仕組みを理解し素早く打ち込むことが出来るようになる
3週目	ベースやギターの入った楽曲を元に素早く構成を作れるようになる
4週目	HIPHOPなどのコードがループしている楽曲構成を素早く作れるようになる
5週目	シンセサイザーの仕組みを理解し簡単な音色などは自分で作れる様になる
6週目	アルペジエーターを学び楽曲に彩りを加えれるようになる
7週目	Pad,bell,stringsなどを使って曲に華やかさを加えれるようになる
8週目	参考音源を使ってオートメーションを学び曲に変化を加えれるようになる
9週目	SEについて学び楽曲を派手に聴かせれるようになる
10週目	サンプリングを取得しLoop素材などをカスタマイズ出来るようになる
11週目	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる1（Reverse Reverb、Tape stopなど）
12週目	トラックメイカー目線でのミックスを学び個性を出せるようになる2（音レイヤー、色々なサイドチェイン、など）
13週目	1コーラスラフデモ制作
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	ソフトのオンラインマニュアル等があれば読んでおく
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	コンピューターミュージックの基本的考えを身につける講義ですが授業内以外の質問事項も随時受け付けておりますので各自のレベルは気にせず積極的にコミュニケーションを取り合いましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名	トラックメイク （Track make）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】DAWの基本的使い方からトラックメイカー的目線でのアレンジ技法を習得する為に分析と実践を行い各自のスキルアップを目指す。授業内ではCubaseやAbleton Liveなどを併用し進めるが提案された課題スキルを各自使用しているDAW状で使えるよう常に考えながら講義を受けること。

【実務者経験】10年以上現役でJ-pop・K-popの作曲編曲活動を行なっている。作家事務所obeliskと業務提携し、TWICE、2PM、E-girls、ジャニーズWESTなどへ楽曲提供。

【到達目標】コンペ案件などでの様々なリクエストに対応出来るよう出来るだけ多くのスキルを身につける。

授業計画・内容	
1週目	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介,Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。
2週目	MaschineのAudioのLoopModeの説明とアイディアの考案、Note modeを使って直感的なトラックメイキングに挑戦。レイヤーテクニックの紹介。
3週目	Maschineでベースラインとメロディーの打ち込み。コードストローク。
4週目	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。
5週目	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方
6週目	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる
7週目	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる
8週目	Ableton Live Launch機能の説明と習得1- Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる
9週目	Ableton Live Launch機能の説明と習得2- Launch Modeを使ってランダマイズだけでフレーズを作ってみる。
10週目	Ableton Live内の”wabtable”の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。
11週目	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。
12週目	Abletonでのクロスフェード機能を使ってDJMixやゲーム音楽家のシーン展開を作ってみる。（ステム差し替えなど） Ableton Liveに収録されているエフェクター10選
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	オンラインマニュアルを読んでおく
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	普段の作曲アレンジ技法とは別に柔軟なアイディアの育成が目的です。楽しんで自由な発想で授業に臨んでアイディアをシェアし合いましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	トラックメイクアドバンス（Track make advance）	必修選択	必修	年次	2,3年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】DAWの基本的使い方からトラックメイカー的目線でのアレンジ技法を習得する為に分析と実践を行い各自のスキルアップを目指す。授業内ではCubaseやAbleton Liveなどを併用し進めるが提案された課題スキルを各自使用しているDAW状で使えるよう常に考えながら講義を受けること。

【実務者経験】10年以上現役でJ-pop・K-popの作曲編曲活動を行なっている。作家事務所obeliskと業務提携し、TWICE、2PM、E-girls、ジャニーズWESTなどへ楽曲提供。

【到達目標】コンペ案件などでの様々なリクエストに対応出来るよう出来るだけ多くのスキルを身につける。

授業計画・内容	
1週目	Maschineの概要説明Sampler内にある機能の紹介,Drum synthを使って常識にとらわれないDrumKitを作りビート作り。
2週目	MaschineのAudioのLoopModeの説明とアイディアの考案、Note modeを使って直感的なトラックメイキングに挑戦。レイヤーテクニックの紹介。
3週目	Maschineでベースラインとメロディーの打ち込み。コードストローク。
4週目	Maschine内でアレンジを完成させる。Slice方法の紹介。
5週目	Maschineで作った素材の書き出し方、Ableton Linkでの同期方法、FXの使用例と作り方。Macroの設定方法。Automationの書き方
6週目	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる
7週目	Ableton Liveの概要 session viewとarrangement viewの連動のさせかたを知る。いくつかLoopを作って展開を作ってみる
8週目	Ableton Live Launch機能の説明と習得1- Launch Modeを使ってサンプラーっぽく使ってみる
9週目	Ableton Live Launch機能の説明と習得2- Launch Modeを使ってランダマイズだけでフレーズを作ってみる。
10週目	Ableton Live内の”wabtable”の基本的な使い方からアフタータッチなどのMIDI control設定まで理解する。
11週目	MacroやMap機能またMaxForLiveなどを使ってエフェクターやシンセを拡張する術とAbletonのオートメーションを学ぶ。
12週目	Abletonでのクロスフェード機能を使ってDJMixやゲーム音楽家のシーン展開を作ってみる。（ステム差し替えなど） Ableton Liveに収録されているエフェクター10選
13週目	テストMaschineとLiveのみでdemo作り。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	オンラインマニュアルを読んでおく
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	普段の作曲アレンジ技法とは別に柔軟なアイディアの育成が目的です。楽しんで自由な発想で授業に臨んでアイディアをシェアし合いましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	トラックメイクアドバンス（Track make advance）	必修選択	必修	年次	2,3年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】DAWの基本的使い方からトラックメイカー的目線でのアレンジ技法を習得する為に分析と実践を行い各自のスキルアップを目指す。授業内ではCubaseやAbleton Liveなどを併用し進めるが提案された課題スキルを各自使用しているDAW状で使えるよう常に考えながら講義を受けること。

【実務者経験】10年以上現役でJ-pop・K-popの作曲編曲活動を行なっている。作家事務所obeliskと業務提携し、TWICE、2PM、E-girls、ジャニーズWESTなどへ楽曲提供。

【到達目標】コンペ案件などでの様々なリクエストに対応出来るよう出来るだけ多くのスキルを身につける。

授業計画・内容	
1週目	Electro House-ダンスミュージックの基本的なオートメー書などを理解し使えるようになる事
2週目	FutureHouse-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる
3週目	Complextro House-音色又はフレーズのコラージュで楽曲を制作出来るようになる事
4週目	Drum&Bass-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる
5週目	DubStep-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる
6週目	DirtyTrap-用意した参考曲のコピーをまず出来るようになる
7週目	GlitchHop-スイングしたビートを作れるようになる
8週目	Future bass-切ないコード進行の分析を行った後Dropで使われている手法を習得する
9週目	Lofisound-LofiHipHopなどに使われる手法を習得し作品をつくってみる
10週目	ElectroSwing-BigBandSampleなどをサンプリングし説明を参考にし実際に作ってみる
11週目	ElectroJazz - Anomalieなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる
12週目	ElectroJazz - FKJなどの楽曲を参考にシンセとジャズの融合を研究し混ぜれるようになる
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	シンセやエフェクターの使い方がわからない場合はマニュアルや動画などで予習しておくこと。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	トラックメイカーのハイレベルなスキルを習得し、コンペなどで自由に使えるようになってください。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	プロダクションワークショップ Production Workshop	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	180	開講区分	前期

【授業の学習内容】
avex managementと協力し、現場と同じ発注内容と時間軸で制作をしていきます。

【実務者経験】day after tomorrow(avex trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2003ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍、

【到達目標】
職業作家として、クライアントの要望にあった内容を、与えられた期間の中で制作できるようになる。

授業計画・内容	
1週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
2週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
3週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
4週目	avex managementからの講義
5週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
6週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
7週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
8週目	avex managementからの講義
9週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
10週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
11週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
12週目	avex managementからの講義
13週目	楽曲試聴会
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	課題に対しての制作を常に行い、各授業と連動して制作を進められるようにすること。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	職業作家だけでなく、どんな現場でも締め切りがあり、要望があります。 クリエイターとしてどう創っていくか？をグループワークの中でしっか学んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	プロダクションワークショップ Production Workshop	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	180	開講区分	後期

【授業の学習内容】
avex managementと協力し、現場と同じ発注内容と時間軸で制作をしていきます。

【実務者経験】day after tomorrow(avex trax)のメンバーとして、第44回日本レコード大賞新人賞、第17回日本ゴールドディスク大賞ニュー・アーティスト・オブ・ザ・イヤー受賞、ベストヒット歌謡祭2003ゴールド・アーティスト賞を受賞、現在所属事務所は株式会社ハウフルス、レーベルはVapに在籍、

【到達目標】
職業作家として、クライアントの要望にあった内容を、与えられた期間の中で制作できるようになる。

授業計画・内容	
1週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
2週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
3週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
4週目	avex managementからの講義
5週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
6週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
7週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
8週目	avex managementからの講義
9週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
10週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
11週目	avex managementからの発注を基にグループワーク
12週目	avex managementからの講義
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	課題に対しての制作を常に行い、各授業と連動して制作を進められるようにすること。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	職業作家だけでなく、どんな現場でも締め切りがあり、要望があります。 クリエイターとしてどう創っていくか？をグループワークの中でしっか学んでください。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	マニピュレーション＆ミキシング Manipulation＆Mixing	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】DAWを使用して、様々なスタイルのサウンド、楽曲を制作する。またその為に必要な技術、知識を習得し、応用までを実践する。

【実務者経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエーター。1996年よりインストラクターとしても活動。

【到達目標】DAWの扱い方と様々な制作スタイルを身に付け、作品に応じて制作手法を考え実践出来るようになる。ミキシングやシンセサイザーによるサウンド加工の方法を習得し、アレンジや作曲において自身でディレクションやプロデュースを行うための感覚を養う。

授業計画・内容	
1週目	基礎講座の復習。作曲におけるDAWの活用方を知り、自身の制作イメージを形作る。
2週目	DAWにおけるドラムの入力。ビートの理解。音色による楽曲の変化。
3週目	メロディーとコードの実践的な入力方法。コードアレンジへのDAWの利用法。
4週目	各トラック・楽器の楽曲での役割を考え、音量・定位・ルーティングなどの設定を行う。
5週目	楽曲の全体像を作るため、作曲のための楽器演奏シミュレーション。
6週目	4リズムでの楽曲制作。実践的なトラックメイキングの流れを理解する。
7週目	自作曲のリアレンジ・リミックスを行い様々な変化をコントロールする。
8週目	様々な楽器のコンビネーションにおけるグルーブコントロール。
9週目	サウンド変化によるグルーブコントロール。ダンストラック・ベースミュージックの作成
10週目	シンセサイザー・サンプラーの詳細を理解し、自作曲への応用する。
11週目	エフェクターによるサウンドクオリティーのアップと表現方法。
12週目	音響知識を学び、アレンジ・MIXの実践力に結びつける。
13週目	自身の楽曲をこれまでに学んだ観点から分析する。ビート、コード、周波数分布、MIXなど。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習時間外学習	生活の中に作曲、楽曲制作を組み込んで行きましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生へのメッセージ	DAWやコンピュータを使った作曲・制作方法をマスターします。自身や楽曲にどんな可能性があるのか楽しみましょう。

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	マニピュレーション＆ミキシング Manipulation＆Mixing	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】時代やジャンルによる、音の違いを学び、それを再現する。そのための各機材のコントロール方法マスターする。また様々な音響特性を再現することで、聴く力と制作力を高める。

【実務者経験】1994年大阪スクールオブミュージック専門学校卒業。劇団神戸及び、スタジオアクアにてマニピュレーター、エンジニアとして活動。2000年よりPowerFXなど海外サウンドデベロッパーに数多くのサウンドを提供。グリッチ、アンビエント系サウンドを得意とするクリエーター。1996年よりインストラクターとしても活動。

【到達目標】サウンドクオリティーのアップ。様々な音楽制作のスタイルをマスターし自作曲に応用できるようになる。その為に必要な機材やソフトを選びコントロールできるように。また音色、音質や空間コントロールの表現を作品制作に取り入れられるようになる。

授業計画・内容	
1週目	機材・ソフトの性能を引き出す。レコーディング機材、ソフトについて。
2週目	アレンジや作品の方向性を理解し、良い音について考える。サウンド分析。
3週目	ジャンル・時代・地域によるサウンドの違いと変化を再現する。ビンテージ系。
4週目	ジャンル・時代・地域によるサウンドの違いと変化を再現する。ベースミュージック系。
5週目	ポストプロダクションの実践。様々なサウンドを組み合わせて、新たなサウンドを構築する。
6週目	ドラム＆ベースによる楽曲のコントロール。音源のクオリティーとは？
7週目	Kickの研究。音源、エフェクターの実践。
8週目	リミックス作品制作を通して、ミキシングによるサウンドコントロールスキルアップ。
9週目	リミックス作品制作を通して、グルーブコントロールのスキルアップ。
10週目	様々なシンセサイザーの特性を理解しコントロールする。ウェーブテーブル、FMなど。
11週目	個体差を含めたエフェクターの詳細（コンプレッサー、イコライザー等）
12週目	音響作品の制作を通して、空間と時間的なサウンドの変化コントロールする。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	練習曲制作など積極的に取り組んで行きましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	良い音楽とは？作りたい作品は？自身の作品のクオリティーアップを徹底的に！！！

【使用教科書・教材・参考書】

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名	作曲・編曲 （メロディメイク）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	前期

【授業の学習内容】コンピュータを用いたDTMスキルを基にアレンジメント及び、メロディーワークの向上を目的に授業展開

【実務者経験】 tearbridge production所属作家として、dream、玉置成実、Every Little Thing、倖田來未等のアーティストへ楽曲提供。

【到達目標】DTM, DAWスキルを習得していく中で、メロディーの配置やアイディアの引き出し方の選択肢を増やす。

授業計画・内容	
1週目	DTMの基本動作
2週目	DTMの基本動作、簡易的なコードワーク上でのメロディメイク、およびアレンジ。
3週目	DTMの基本動作、簡易的なコードワーク上でのメロディメイク、およびアレンジ。
4週目	DTMの基本動作、簡易的なコードワーク上でのメロディメイク、およびアレンジ。
5週目	音楽ジャンル別のアレンジに対するメロディ考察。
6週目	音楽ジャンル別のアレンジに対するメロディ考察。
7週目	音楽ジャンル別のアレンジに対するメロディ考察。
8週目	メロディーワークに対するアレンジメント上での楽器構成と解説。
9週目	メロディーワークに対するアレンジメント上での楽器構成と解説。
10週目	メロディーワークに対するアレンジメント上での楽器構成と解説。
11週目	オリジナル楽曲制作。
12週目	オリジナル楽曲制作。
13週目	オリジナル楽曲に対するクラス全体での視聴会。
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	コンピュータースキルに置ける基本動作の反復練習。オリジナル楽曲などの課題。課題に対するフォロー。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	メロディという音楽の中で最も核となる要因ゆえにそれぞれのセンスや才能をたたえ合い高め合いたい。個人的なパソコンがあると 帰宅時などに作業できる時間が増え好ましい結果につながると思っております。

【使用教科書・教材・参考書】学校のPC。

神戸・甲陽音楽＆ダンス専門学校
科目シラバス

科目名（英）	メロディメイク melodyMake	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科・昼間・Ⅰ部	授業形態	演習	総時間	120	開講区分	後期

【授業の学習内容】コンピュータを用いたDTMスキルを基にアレンジメント及び、メロディーワークの向上を目的に授業展開

【実務者経験】 tearbridge production所属作家として、dream、玉置成実、Every Little Thing、倖田來未等のアーティストへ楽曲提供。

【到達目標】DTM, DAWスキルを習得していく中で、メロディーの配置やアイディアの引き出し方の選択肢を増やす。後期に際してはメロディーワークを意識した個人アルバム作品納品を目標とする。

授業計画・内容	
1週目	オリジナル楽曲制作。
2週目	オリジナル楽曲制作。
3週目	オリジナル楽曲制作のクラス視聴会。
4週目	オリジナル楽曲制作。
5週目	オリジナル楽曲制作。
6週目	オリジナル楽曲制作のクラス視聴会。
7週目	オリジナル楽曲制作。
8週目	オリジナル楽曲制作。
9週目	オリジナル楽曲制作のクラス視聴会。
10週目	オリジナル楽曲制作。
11週目	オリジナル楽曲制作。
12週目	各々のアルバムもしくはそれに準じた物としてパッケージング込みで納品。クラス視聴会。
13週目	ワークショップ(海外研修)
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	コンピュータースキルに置ける基本動作の反復練習。オリジナル楽曲などの課題。課題に対するフォロー。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	メロディという音楽の中で最も核となる要因ゆえにそれぞれのセンスや才能をたたえ合い高め合いたい。個人的なパソコンがあると 帰宅時などに作業できる時間が増え好ましい結果につながると思っております。

【使用教科書・教材・参考書】
学校のPC。

科目名（英）	英会話 GLOBAL COMMUNICATION	必修選択	必須	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科　昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】
日常生活の様々な場面で使える頻度の高いコミュニケーション英語を学ぶ。

【実務者経験】
・Jackson Abatemarco（ジャクソン・アバテマルコ）:日本では2018年よりお子様や高校生を対象に英語教授経験あり。
・Ceasar　Rodriguez（シーザー・ロドリゲス）:2010年より企業や英会話教室などで幅広い年齢層に教授経験あり。

【到達目標】
様々な場面で出てくるトピックに関して、自信を持って話せるようになる。

授業計画・内容	
1回目	L. 1 授業計画の説明、プレテスト、初対面のあいさつ～お別れまでの会話が出来る。、プレテスト
2回目	L. 2 & 3 自己紹介、友人の紹介、パーソナルインフォメーションに関する一般的な質問に対する受け答えが出来る。
3回目	L. 5 & 6　好き・嫌い等の好みについての会話が出来る。
4回目	L. 8　意見を尋ねる/意見を述べる。お誘いを受けた際の返答が出来る。
5回目	L. 11 & 12　人を褒める＆褒められた際の会話表現。（衣服など）着ているものに関して述べることが出来る。
6回目	L. 7, 13, & 14　時間について表現する。日々の習慣について話す＆質問できる。
7回目	L. 19 & 20　道案内をする・場所を尋ねることが出来る。
8回目	L. 21 & 23　数やお金の数え方・価格や頻度についての質問や受け答えが出来る。
9回目	L. 28　料理の味や材料について＆レストランでのオーダーが出来るようになる。
10回目	L. 29 & 30　過去の出来事について話す＆質問できる。
11回目	L. 31　自分の体験について話す＆それに対するリアクションや返答が出来るようになる。
12回目	L. 32　週末や未来の予定について話すことが出来る。
13回目	総復習
14回目	本試験
15回目	試験返却、解説、ポストテスト
準備学習 時間外学習	事前に教科書を読んでおきましょう。
評価方法	出席率および定期試験の成績により評価する。
受講生への メッセージ	皆さんは既にたくさんの英語を知っています。英語を話せるように、一緒に頑張りましょう！

【使用教科書・教材・参考書】
Speak Now1

科目名（英）	音楽史（Music History）	必修選択	必修	年次	1年次	担当教員	
学科・コース	音楽クリエーター科　昼間I部	授業形態	講義	総時間	60	開講区分	前期(半期)

【授業の学習内容】 コムグルームのOSMで20年近くに渡り音楽史を教えたノウハウをもとに、講義の中では事例としてアーティストの楽曲を聴くだけでなく、ライブ動画やPVなども豊富にプロジェクションすると共に、ニュース映像も紹介することから、時代背景と共にポピュラーミュージックの歴史を学ぶ。

【実務者経験】幼少期から小学生時代にかけてピアノやトランペットなど多くの楽器に触れ、中高生時代を通じ独学で作曲活動を始める。1993年3月大阪芸術大学音楽学科卒業後、1995年3月武庫川女子大学大学院修士課程を修了。1998年プライヴェート・オフィス・ミニスタジオを設立し、2009年法人化。在学中からファッションショーの音楽制作をはじめ、株式会社フェイスのベンチャー・スタッフとしてゲームやCMなどの商業音楽も数多く手掛ける。一方では、サウンドアーティストとして美術館やギャラリーなどで多くの現代音楽家・現代美術家らと共演、自らの作品も発表する。テクノバンド“A.C.E.”、“EP-4 unitP”“salbattle”などでは、海外ツアーも経験。現在はラジオ関西やFM MOOVでも音楽カルチャー番組を手掛けるなど、その活動は多方面に及ぶ。

【到達目標】 本授業を学ぶことにより、卒業後に業界団体に携わる際、最低限必要となる一般的な音楽知識を身につけることが到達目標である。

授業計画・内容	
1週目	●2010年代から過去へと遡り、現在のヒットチャートに直接関係する原点を探る。
2週目	1940年代～ ●ラジオの普及とメディアの発達など。 〇ロックンロール
3週目	1950年代～ 〇サーフ&ホットロッド 〇アイドルポップ 〇ソウル
4週目	1960年代～ ●公民権運動など 〇フォークとブリティッシュビート、フォークロック ●スタジオ技術の発展とPA機器の発達 〇サイケデリックロックとアートロック
5週目	1970年代～ ●音楽産業発展の時代 〇フレンチポップ 〇プログレッシブロック 〇モッズ 〇グラムロック 〇パブロック 〇ファンク～ディスコ
6週目	1970年代～ 〇シンガーソングライターとAOR 〇サザンロックとウェストコースト 〇ハードロックとブルースロック 〇ヘヴィメタル（～2000年代）
7週目	1970年代～ ●アンダーグラウンドシーンの登場 〇パンク～ニューウェイブ 〇レゲエ～ダブ ●音楽とファッション
8週目	1980年代～ ●音楽スタジオと電子機材 〇エレクトロニックポップとテクノポップ ●新しいブラックミュージックの登場 〇ブラックコンテンポラリー 〇エレクトロニックファンク～ヒップホップ ●MTVとスーパースター
9週目	1990年代～ ●クラブミュージックの隆盛 〇アシッドジャズ 〇マッドチェスター 〇テクノ 〇ヒップホップ～R&B
10週目	1990年代～ ●オルタナティブシーン 〇グランジ 〇ミクスチャー 〇ラウドロック 〇ハードコア～メロディックコア 〇ヘビーロック 〇インダストリアル
11週目	2000年代～ ●ロックミュージックの新たな地平 〇ポストロック 〇ニューウェイブリバイバル、など
12週目	2010年代～ 現在のアーティストを中心に
13週目	●音楽とボランティア、社会活動～フェスティバルの開催、など、について
14週目	ワークショップ
15週目	ワークショップ
準備学習 時間外学習	日常的に耳にしている音、音楽を意識的に聴くことにより、その音楽のバックグラウンドやルーツと関連付けられる習慣を身につける訓練をする。
評価方法	毎回授業に出席しているか（出席率）。講師の質問に受け答えができるか、また授業態度は適切か（平常点）、など。これらを軸に評価付けするものとする。
受講生へのメッセージ	興味のないジャンルや時代の紹介であっても居眠りはしない。ましてや私語により周囲へ迷惑をかけることは慎むこと。リラックスして「音」を「楽」むことから、自分にとって僅かでも新たな音楽との出会いになりますように。

【使用教科書・教材・参考書】 本学指定のテキストを使用。